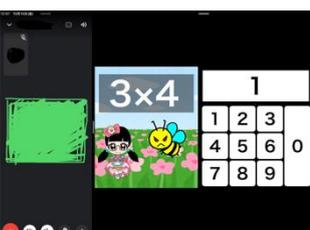


1人1台端末の活用による実践事例

| | | | |
|--|---|--|------|
| 学校名 | 岡山県立岡山聾学校 | 実践者名 | 柴田慎平 |
| 実践場面 (教科) | 算数 | | |
| 単元・題材名 | かけ算 | | |
| 学習目標・ねらい | 乗数が1増えると答えが4ずつ増えることを使って、4の段の九九を構成することができる。 | | |
| 対象の児童生徒の 実態 | <ul style="list-style-type: none"> ・GoogleClassroomからMeetに参加することができる。 ・ロイロノートで考えたことを書いて提出し、他の児童に共有できる。 ・ロイロノートの資料箱から学習プリントを選択し、解いて提出をすることができる。 ・返却後、間違えていたところを直して再提出することができる。 ・画面分割ができる。 | | |
| 活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する | | | |
| <p>① 児童がGoogleClassroomを開いて、クラスのMeetに参加する。 ・教師と板書が映った画面を見ながら学習を進める。</p> <p>② めあてを確認し、4×1から4×4までを一緒に考える。</p> <p>③ 児童が画面分割をして右にロイロノート、左にMeetを表示する。</p> <p>④ 4の段がいくつずつ増えるのかをロイロノートに書いて提出する。 ・ロイロノートの「はいしん」で、全員に回答を共有する。Meetは発表者の画面を表示しておく。</p> <p>⑤ ロイロノートで4×5から4×9を自分で解いて提出する。 ・ロイロノートの「せいとはっぴょう」で、発表者の画面を全員に共有し、考えを発表する。Meetは発表者の画面を表示しておく。</p> <p>⑥ Keynoteで作成した九九カードや九九ゲームに取り組む。 ※画面分割をして右にkeynote、左にMeetを表示する。</p> <p>⑦ まとめをする。 ※画面はMeetのみ</p> <p>⑧ ロイロノートの「しりょうばこ」から問題を選択し、練習問題に取り組む。できた人は提出する。 ※画面はロイロノートのみ。時間を伝えておき、時間がきたら画面をMeetにするように伝えておく。</p> | |    | |
| 活用のポイント・改善策等 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・画面分割をすることでオンラインで授業をしながら、ロイロノートを使うことができる。 ・ロイロノートを使うことでオンラインでも簡単に意見や考えを共有できる。 | | | |